

相生山緑地オアシスの森くらぶ

ニュースレター

2011.2.12発行

40号

発行／相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会

発行人／大館 学

編集長／近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

9月25日(土) … COP天白生物多様性を学ぼう／定例活動

10月2日(土) … 天白森のフォーラム・写真＆スケッチ展／特別活動

10月11日(月・祝) … アサギマグダマーキング／特別活動

10月23日(土) … 第12回どんぐり祭り／定例活動

10月24日(日) … 天白区民まつり参加／特別活動

11月14日(日) … 巣箱の清掃＆掛け替え／特別活動

11月27日(土) … 竹林の整備＆竹炭用材づくり／定例活動

12月25日(土) … 正月準備＆梅の剪定／定例活動

9月定例活動

**COP天白
生物多様性を学ぼう**

9月25日の定例会はCOP天白「生物多様性を学ぼう」という天白区企画のイベントに協力する形で天白エコ・アンサンブルと共に開催されました。

集いの広場・昼食時の豚汁サービス、足場を整え枯れ木を除くなどこうした裏方の準備も初体験、

これまでイベントに参加をして受ける一方のサービスから支える役割、大変いい経験をしました。

会長の挨拶・注意事項を周知して竹切りに入りました。参加家族が少なく20名ほどでしたからスタッフが家族単位でアシストする厚遇ぶり、小生もイベントスタッフを含める3名グループを指名されましたが覚束ない説明、ベテランスタッフにお任せする有様でした。



CATV社の取材があり子供たちはインタビューに応じながら竹を

切る手に力を込めている様子もほほえましいものです。

その後ウッドデッキへ移動して竹炭用材作りにも全員参加、炭焼き釜の説明など同時進行はいい経験であったかと思います。

集いの広場にもどり昼食、多人数分の豚汁は旨い、お代わりする方々が多く好評でした。ご婦人スタッフに感謝。

いい天気で日差しは強かったのですが木陰はまさに爽やかそのもの、エコ・アンサンブルの奏であるなじみ深い曲に癒されました。

後、木片に金属をねじ込んで鳥の鳴き声が出るクラフト作り、森の中で鳴らすと鳴き声で反応があるとか、そんな遊びをしている時、演奏を終えた皆さんのがやっと開放されて豚汁を味わっておられるのが妙に印象に残りました。（早川）

天白森のフォーラム・写真＆スケッチ展

9月27日から10月3日まで、天白区役所の2階で、天白森のフォーラム・写真＆スケッチ展が開催され、その期間中の10月2日（土）にオアシスの森くらぶが、クラフト教室を行いました。
(午前10時～午後3時)

参加者は、会長の大館さん、真弓さん、早川さん、塚口さんで、

午前中に会長の松ぼっくりを素材にしたエビフライのストラップ作りと、塚口さんの鉄棒をするからくり人形作りに親子連れとご婦人が一生懸命に取り組んでいました。

一方、写真＆スケッチ展の作品の中には、オアシスの森を題材にしたもののが沢山あり、大変



よかったです。参加の皆さま、お疲れ様。（森 勝）